創造力とコミュニティ研究会13

COVID-19時代の伝統文化

コロナウイルスの感染状況もおさまらないまますでに2年が過ぎようとしています。本研究会で何度も取り上げてきたように、アーティストや芸術関係者の皆さん方は、この状況に果敢に取り組んでいます。

今回は、伝統芸術の世界で活躍するアーティストをお迎えします。国内のみならず、国際社会に向けて、日本の伝統を伝えようする努力に、コロナ禍はどのような挑戦を突き付けているのでしょうか。そして、そこからどのような新しい創造活動が生まれようとしているのでしょうか。

お話をうかがいながら、参加者の皆様方とコロナ時代の先の芸術のあり方を描いてみたいと思います。

●話題提供者：　花崎杜季女氏（地唄舞舞手、花崎流家元）

花崎三千花氏（地唄舞舞手、花崎流名取）

●日時：2021年12月7日（火）18:30 ～20:00（予定）

●場所：居場所「カドベヤ」

横浜市中区石川町5丁目209－3　1階

http://www.kadobeya2010.net/access/

●参加費無料

●参加ご希望の方は、慶應義塾大学法学部・横山千晶（chacky@keio.jp）までご連絡ください。なお、新型コロナウイルスの感染症予防のために、先着10名に限らせていただきます。

お越しの時は、マスク着用、入室前の検温、手指の消毒にご協力ください。体調不良の際は、申し訳ございませんが、参加をお控えください。

主催　居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会
慶應義塾大学教養研究センター
助成　横浜市地域文化サポート事業・ヨコハマアートサイト 2021

ヨコハマアートサイト